

科目区分	専門分野	科目名	老年看護学概論	対象学生	第1学年
		単位数(時間数)	1単位(15時間)	学期	第2学期
担当講師	川崎 有希			実務経験	有
科目目標	1. 老年期にある対象の特徴、社会の動向や課題をふまえ、老年看護の役割を理解する。 2. 超高齢社会の現況と社会保障を理解し、高齢者の生活機能を整える看護を理解する。				
授業計画	第1回 老年期の対象理解 (講義) 1. 老年看護を学ぶ入口 2. 加齢と老化 1) 高齢者の定義 2) 発達と成熟 3) 喪失体験と獲得体験 第2回 超高齢社会と社会保障 (講義) 1. 超高齢社会の統計的輪郭 2. 保健医療福祉の動向 1) 介護保険 2) 地域包括ケアシステム 3) 高齢者虐待 4) 身体拘束 5) 権利擁護のための制度 第3回 老年看護のなりたち (講義) 1. 老年看護の特徴 1) 国際生活機能分類(ICF) 2. 老年看護における理論・概念の活用 1) エンパワメント 2) ストレングスモデル 3) ライフレビュー 4) コンフォート理論		第4、5回 高齢者のヘルスアセスメント (講義・演習) 1. ヘルスアセスメントの枠組み 2. 身体の高齢の変化とアセスメント 3. 高齢者疑似体験 4. 高齢者とのコミュニケーション 第6回 高齢者の生活機能を整える看護 (講義) 1. 日常生活活動(動作)の評価 1) 高齢者総合機能評価(CGA) 2) 日常生活動作(ADL)、手段的日常生活動作(IADL) 3) 障害高齢者の日常生活自立度(寝たきり度)判定基準 2. 高齢者の日常生活を支える看護 3. 治療を必要とする高齢者の看護 1) 検査を受ける高齢者の看護 2) 薬物療法を受ける高齢者の看護 3) 手術を受ける高齢者の看護 第7回 生活・療養の場における看護(講義) 1. 高齢者とヘルスプロモーション 2. エンドオブライフケア 3. 高齢者の家族の看護 第8回 終了試験		
評価方法	筆記試験				
テキスト	系統看護学講座 老年看護学 医学書院、国民衛生の動向、一般財団法人厚生労働統計協会 看護実践のための根拠がわかる老年看護技術 メヂカルフレンド社				
講師からのメッセージ	老年看護学全般に関わる基礎理論として位置づける。社会の動向や課題をふまえたうえで、加齢に伴う変化を理解し高齢者の健康状態と高齢者看護の特徴と役割を理解できるように学習する。授業の予習、復習を主体的に行い学びを深める学習を期待する。国家試験出題基準を確認し学習すること。				